

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成27年7月30日(2015.7.30)

【公表番号】特表2014-519960(P2014-519960A)

【公表日】平成26年8月21日(2014.8.21)

【年通号数】公開・登録公報2014-044

【出願番号】特願2014-517248(P2014-517248)

【国際特許分類】

A 6 1 M 27/00 (2006.01)

A 6 1 F 13/00 (2006.01)

A 6 1 B 17/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 27/00

A 6 1 F 13/00 3 0 0

A 6 1 B 17/00 3 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成27年6月10日(2015.6.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

組織部位を治療する減圧システムにおいて、  
分配マニホールドであって、

減圧を分配し流体を受け取る複数の流路を有する多孔質部材であって、第1面および組織に面する第2面を有する多孔質部材、

第1面および組織に面する第2面を有する流体透過性基板部材であって、前記多孔質部材の前記組織に面する第2面が、前記流体透過性基板部材の前記第1面に近接し、前記流体透過性基板部材の前記組織に面する第2面が表面積 $A_s$ を有する、流体透過性基板部材、および

第1面および組織に面する第2面を有する組織固定要素であって、前記組織固定要素の前記第1面が、前記流体透過性基板部材の前記組織に面する第2面に結合され、前記組織固定要素の前記組織に面する第2面が表面積 $A_t$ を有し、 $0.05 A_s < A_t < 0.7 A_s$ である、組織固定要素

を備える分配マニホールドと、

前記分配マニホールドの上に配置されて前記分配マニホールドを収容する封止空間を生成する封止部材と、

前記封止空間に減圧を提供する、前記封止空間に流体結合された減圧源と、

前記減圧源からの減圧の影響下で、患者から流体を受け取る、分配マニホールドに流体結合された液体容器と、

を具備することを特徴とするシステム。

【請求項2】

請求項1に記載のシステムにおいて、前記分配マニホールドが、第1面および組織に面する第2面を有するリリースライナをさらに備え、保管状態で、前記リリースライナの前記第1面が、前記組織固定要素の前記組織に面する第2面に取外し可能に結合されることを特徴とするシステム。

**【請求項 3】**

請求項 1 に記載のシステムにおいて、 $0.10 A_s < A_t < 0.5 A_s$  であることを特徴とするシステム。

**【請求項 4】**

請求項 1 に記載のシステムにおいて、 $0.20 A_s < A_t < 0.4 A_s$  であることを特徴とするシステム。

**【請求項 5】**

請求項 1 または 2 乃至 4 の何れか 1 項に記載のシステムにおいて、組織固定要素が、液体との接触の少なくとも 1 時間後に溶解する水溶性接着剤を含むことを特徴とするシステム。

**【請求項 6】**

請求項 1 または 2 乃至 4 の何れか 1 項に記載のシステムにおいて、組織固定要素が、液体と接触すると少なくとも 10 分間残る水溶性接着剤を含むことを特徴とするシステム。

**【請求項 7】**

請求項 1 または 2 乃至 6 の何れか 1 項に記載のシステムにおいて、組織固定要素が、水性液体との接触により活性化される接着剤を含むことを特徴とするシステム。

**【請求項 8】**

請求項 1 または 2 乃至 4 の何れか 1 項に記載のシステムにおいて、組織固定要素が、液体と接触すると少なくとも 10 分間残り、液体との接触の少なくとも 3 時間以内に実質的に溶解する、水溶性接着剤を含むことを特徴とするシステム。

**【請求項 9】**

請求項 1 または 2 乃至 4 の何れか 1 項に記載のシステムにおいて、組織固定要素が非水溶性接着剤を含むことを特徴とするシステム。

**【請求項 10】**

請求項 1 または 1 乃至 9 の何れか 1 項に記載のシステムにおいて、前記分配マニホールドが、湾曲面に適応するように前記分配マニホールドと塑性変形する、複数の可鍛性部材をさらに備えることを特徴とするシステム。

**【請求項 11】**

請求項 1 または 1 乃至 10 の何れか 1 項に記載のシステムにおいて、前記組織固定要素が、接着剤のパターン化分布を含み、前記パターンが、複数の同心円、複数の正方形、複数の三角形、複数の円形、複数の隔置されたラインおよび複数のダイヤモンドのうちの 1 つを含むことを特徴とするシステム。

**【請求項 12】**

請求項 1 または 1 乃至 11 の何れか 1 項に記載のシステムにおいて、前記流体透過性基板が織物層を含むことを特徴とするシステム。

**【請求項 13】**

請求項 1 または 2 乃至 11 の何れか 1 項に記載のシステムにおいて、前記流体透過性基板が不織層を含むことを特徴とするシステム。

**【請求項 14】**

請求項 1 または 2 乃至 11 の何れか 1 項に記載のシステムにおいて、前記流体透過性基板が有窓封止部材を含むことを特徴とするシステム。

**【請求項 15】**

請求項 1 または 1 乃至 14 の何れか 1 項に記載のシステムにおいて、前記多孔質部材が、前記第 1 面に形成された複数の切欠きをさらに備え、前記切欠きが相対的に高い曲げ可撓性を提供することを特徴とするシステム。

**【請求項 16】**

請求項 1 または 1 乃至 15 の何れか 1 項に記載のシステムにおいて、前記多孔質部材が、力をオフロードする複数の成形された縁をさらに備えることを特徴とするシステム。

**【請求項 17】**

請求項 1 または 1 乃至 16 の何れか 1 項に記載のシステムにおいて、前記多孔質部材が

、矩形、正方形、三角形または円形のうちの1つを有するように成形されていることを特徴とするシステム。

【請求項18】

患者の組織部位に減圧を提供する減圧システムで使用される分配マニホールドにおいて、

減圧を分配し流体を受け取る複数の流路を有する多孔質部材であって、第1面および組織に面する第2面を有する多孔質部材と、

第1面および組織に面する第2面を有する流体透過性基板部材であって、前記多孔質部材の前記組織に面する第2面が、前記流体透過性基板部材の前記第1面に近接し、前記流体透過性基板部材の前記組織に面する第2面が表面積 $A_s$ を有する、流体透過性基板部材と、

第1面および組織に面する第2面を有する組織固定要素であって、前記組織固定要素の前記第1面が、前記流体透過性基板部材の前記組織に面する第2面に結合され、前記組織固定要素の前記組織に面する第2面が表面積 $A_t$ を有し、 $0.05A_s < A_t < 0.6A_s$ である、組織固定要素と、

を具備することを特徴とする分配マニホールド。

【請求項19】

患者の組織部位に減圧を提供する減圧システムで使用される分配マニホールドを製造する方法において、

減圧を分配し流体を受け取る複数の流路を有する多孔質部材を提供するステップであって、前記多孔質部材が第1面および組織に面する第2面を有する、ステップと、

第1面および組織に面する第2面を有する流体透過性基板部材を提供するステップであって、前記流体透過性基板部材の前記組織に面する第2面が表面積 $A_s$ を有する、ステップと、

前記多孔質部材の前記組織に面する第2面を、前記流体透過性基板部材の前記第1面に結合するステップと、

第1面および組織に面する第2面を有する組織固定要素を提供するステップであって、前記組織固定要素の前記組織に面する第2面が表面積 $A_t$ を有し、 $0.05A_s < A_t < 0.6A_s$ である、ステップと、

前記組織固定要素の前記第1面を、前記流体透過性基板部材の前記組織に面する第2面に結合するステップと、

を含むことを特徴とする方法。

【請求項20】

請求項19に記載の方法において、第1面および組織に面する第2面を有するリリースライナを提供するステップと、前記リリースライナの前記第1面を、前記組織固定要素の前記組織に面する第2面に剥離可能に結合するステップとをさらに含むことを特徴とする方法。

【請求項21】

請求項19に記載の方法において、 $0.10A_s < A_t < 0.5A_s$ であることを特徴とする方法。

【請求項22】

請求項19に記載の方法において、 $0.20A_s < A_t < 0.4A_s$ であることを特徴とする方法。

【請求項23】

請求項19または請求項20乃至22の何れか1項に記載の方法において、組織固定要素が、液体との接触の少なくとも1時間後に溶解する水溶性接着剤を含むことを特徴とする方法。

【請求項24】

請求項19または請求項20乃至22の何れか1項に記載の方法において、組織固定要素が、液体と接触すると少なくとも10分間残る水溶性接着剤を含むことを特徴とする方

法。

【請求項 2 5】

請求項 1 9 または請求項 2 0 乃至 2 2 の何れか 1 項に記載の方法において、組織固定要素が、水性液体との接触により活性化される接着剤を含むことを特徴とする方法。

【請求項 2 6】

請求項 1 9 または請求項 2 0 乃至 2 2 の何れか 1 項に記載の方法において、組織固定要素が、液体と接触すると少なくとも 10 分間残り、液体との接触の少なくとも 3 時間以内に実質的に溶解する、水溶性接着剤を含むことを特徴とする方法。

【請求項 2 7】

請求項 1 9 または請求項 2 0 乃至 2 2 の何れか 1 項に記載の方法において、組織固定要素が非水溶性接着剤を含むことを特徴とする方法。

【請求項 2 8】

請求項 1 9 または請求項 2 0 乃至 2 7 の何れか 1 項に記載の方法において、前記分配マニホールドを湾曲面に適応するように塑性変形させるために、前記分配マニホールドに複数の可鍛性部材を関連付けるステップをさらに含むことを特徴とする方法。

【請求項 2 9】

請求項 1 9 または請求項 2 0 乃至 2 8 の何れか 1 項に記載の方法において、前記組織固定要素が、接着剤のパターン化分布を含み、前記パターンが、複数の同心円、複数の正方形、複数の三角形、複数の円形、複数の隔置されたラインおよび複数のダイヤモンドのうちの 1 つを含むことを特徴とする方法。

【請求項 3 0】

請求項 1 9 または請求項 2 0 乃至 2 9 の何れか 1 項に記載の方法において、前記流体透過性基板が織物層を含むことを特徴とする方法。

【請求項 3 1】

請求項 1 9 または請求項 2 0 乃至 2 9 の何れか 1 項に記載の方法において、前記流体透過性基板が不織層を含むことを特徴とする方法。

【請求項 3 2】

請求項 1 9 または請求項 2 0 乃至 2 9 の何れか 1 項に記載の方法において、前記流体透過性基板が有窓封止部材を含むことを特徴とする方法。

【請求項 3 3】

請求項 1 9 または請求項 2 0 乃至 3 2 の何れか 1 項に記載の方法において、前記多孔質部材の前記第 1 面に複数の切欠きを形成するステップをさらに備え、前記切欠きが相対的に高い曲げ可撓性を提供することを特徴とする方法。

【請求項 3 4】

請求項 1 9 または請求項 2 0 乃至 3 3 の何れか 1 項に記載の方法において、前記多孔質部材が、力をオフロードする成形された複数の縁を備えることを特徴とする方法。

【請求項 3 5】

請求項 1 9 または請求項 2 0 乃至 3 4 の何れか 1 項に記載の方法において、前記多孔質部材が、矩形、正方形、三角形または円形のうちの 1 つを有するように成形されていることを特徴とする方法。